

平成 25 年度第 2 回定例会市会（平成 25 年 9 月 10 日）

1. インナーシティの活性化について

（北山議員）

一昨日、2020 年オリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定し、日本は歓喜の渦に包まれた。その経済効果は 3 兆円とも言われており、世界から東京を訪れる人々を神戸・大阪・京都が一体となって関西圏へ観光客の呼び込みをすることは言うまでもないが、もう一つ提案したい。それは、各国選手団を神戸に誘致することである。世界のアスリートは大会前に神戸に入り、合宿や調整をしてもらい、本番を迎えていただく。神戸では最高のおもてなしで迎える体制と設備を整え、世界に真っ先に選手団の受け入れをアピールしようではないか。世界でニュースになるだろう。観光都市を主張する神戸を、国内外に PR する絶好の機会だと思う。日韓共催のワールドカップを思い出してほしい。私はこの東京大会の前に、世界のアスリートが神戸の街を闊歩する姿を今から眼に浮かべて楽しみたいと思うが、みなさんどうか。

質疑に進むが、市長就任以来 11 年をかけて取り組まれた行財政改革の成果が実を結び、神戸市行財政改革 2015 の 2 年目である平成 24 年度決算においても、昨年度に引き続き、約 20 億円の黒字を計上したことを大いに評価する。市長は就任当初から、行財政改革を自らの大命とし、血のにじむ思いをしながら行財政改革を実行してきた。全事務事業の総点検、職員の給与カットや職員総定数の大幅な削減、新たな投資の抑制による市債残高の圧縮、外郭団体の経営改革など、これらの成果は市長の実績の最たるもので、高く評価する。

さらに、市長は神戸のまちの活力のために、医療産業都市の推進や、スーパーコンピューター「京」の誘致、神戸ビエンナーレや神戸マラソンなど、数多くの功績を残されてきた。平成 25 年度にはさらなる神戸の発展に向けて、将来に向けたプロジェクトを進めることとし、積極的な投資を進めていくことを明確にされた。

しかしながら、これまで私が何度も取り上げてきたインナーシティの活性化については、当該地域が活性化したというには程遠く、目立った成果が上がっていないと言わざるを得ない。今年度は地域住民へのアンケートを通じ、より効果的な施策の検討を進めると言っているが、これも取り組みとしては非常に弱く感じる。当局からは 23 の事業のうち、10 のプロジェクトが未完了で、それを着実に実行していくと聞くが、残されている 10 のプロジェクトを見ても、活性化に繋がるのか疑問を感じる。既に当初の計画から 20 年以上経過しており、今の時代に即した効果的なプロジェクトへと見直すべきと考える。例えば、ノエビアスタジアムの芝の問題を解決し、屋根つきのドームにし、コンサートや企業の展示会などを積極的に開催していく。そして、新長田駅への快速停車や東口改札の設置を実現する。ノエビアスタジアムの改革があれば、間違いなく乗降客が増え、東口改札・快速停車の実現がはかれる。市役所庁舎や出先機関の新長田移転、兵庫運河の観光資源化、周辺の初代県庁の再建。伊藤博文が通ったと言われる県庁が兵庫区にある。これを再建しよう。

私が 30 数年言い続けてきた、子育て日本一の街を作るため、子育て世帯を対象にした民間住宅への家賃補助。これは震災前はやっていた。震災で凍結になっているが、もう凍結解除していいのではないか。真に人の賑わい創出に繋がる施策へと再構築すべきと考えるがどうか。

(矢田市長)

冒頭話のあった東京オリンピックの件だが、ワールドカップの例を出されて、各国の選手団の合宿地としてのおもてなしができないかということだが、大いに賛同する。先方で合宿や調整をする意思があるということをベースにしないといけないが、神戸はそういう施設をもっているので、お迎えをし、キャンプをはる、調整するということが重要だと感じている。

インナーシティの点について、ほとんど進んでいないというお叱りだが、確かにインナーシティの問題が取り上げられてから年月が経っている。その中で海岸線が一つの大きなテーマとして挙げられていたが、なかなか収支がとれていないのが現状である。

地域別にみると、兵庫南部の地域など、人口が増えている地域もある。そのように人が住み変わっていくということをベースにして、賑わいが出てくればいいと思う。逆に減少している地域があるのも確かである。

今後期待しているのは、中央卸売市場の西側跡地の第 1 期のところであり、実際に色々な提案をしていただいている。今後の活性が起爆になって人が集ることを期待しているし、残る 2 期用地の活性化策も視野に入れながら、沿線の活力が期待できる。

また、駒ヶ林町 1 丁目南部において「近隣住環境計画」を決定し、路地を活かしたまちづくりに取り組むなど、新しい展開もしているところである。市街地西部の活性化は言い続けて久しいが、「市街地西部活性化戦略検討会議」を設置し、検討に着手している。

住民の意識も確認したいということで、本年 6 月から 7 月にかけてアンケートを取った。その中で 2,000 人にアンケートを送付した結果、約 4 割強の方から回答をいただいた。それによると、「通勤・通学などの利便」「日常の買い物の利便」については満足度が高く、「火災、地震・水害などの自然災害に対する安全」「騒音、大気汚染など住環境の状況」「まちなみや景観」については満足度が低いという結果が出た。また、アクセスについて、自転車や徒歩のみで済まされる方が多いことも分かった。

海岸線利用という点では、新しくイオンがつくる施設に求心力が必要であると考えている。アンパンマンミュージアムが開かれたときにイオンの社長と話をしたが、三重に続く第 2 の南部地域の活性化に全力でやると言われたので、その場所をどうするか聞いてみると、築地の場外のようなものを施設の 1 階に作ったらどうかと言われたので、よその地域から来る人も楽しめるような施設にしてもらったらありがたいと話した経緯がある。

賑わいが何よりも重要で、地域の中で取り組んでいただくコミュニケーションを重要視しながら、今後の西部地域の活性化に取り組んでいきたいと考えている。

(北山議員)

市長から真剣にいい話を聞かせていただいた。私も賛成だが、一点言いたいのは、ノエビアスタジアムの屋根を付けて、コンサートや企業の展示会にも使えるものをぜひ作ってほしい。ノエビアスタジアムが雨天でも使え、試合だけでなく展示会やコンサートにも使えるようになれば、海岸線で西から来る人は新長田を使う、東から来る人は三宮を使う。この点についても考えていただきたい。